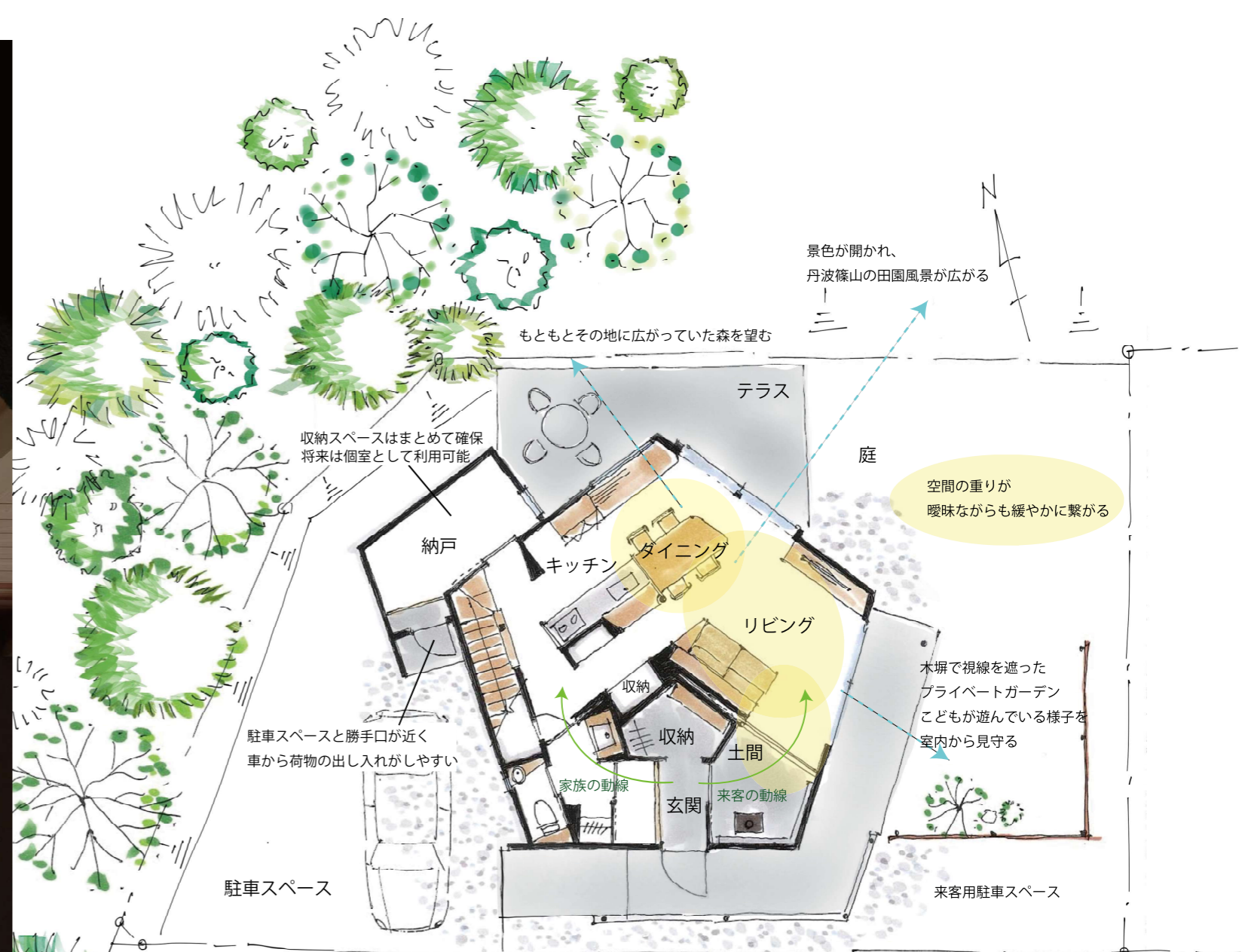


# 五角形の家

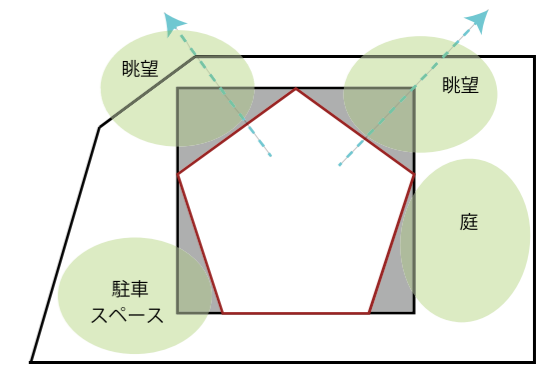
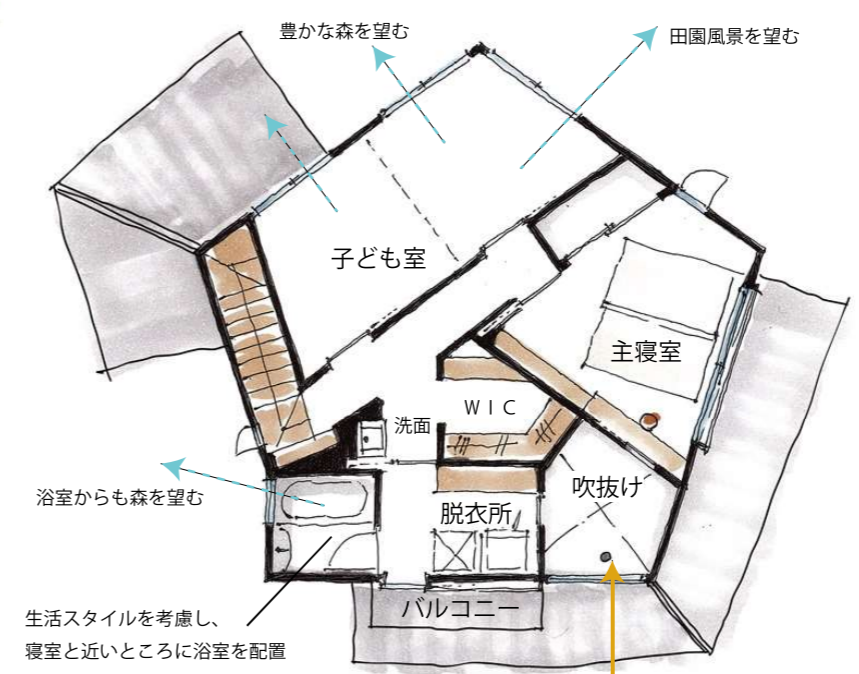
暮らしに馴染むカタチを探して

この家のカタチは、眺望のいい土地との出会いから生まれた。家族が集うリビング、ダイニング、そしてテラスから丹波篠山のパンoramaを堪能できる。五角形による回遊性、五角形だから生まれる重なり合う空間。土地の特性に、美しい丹波篠山の風景に、穏やかな住宅街に、馴染む住宅を目指した。



前面道路

1F



- ◆外部仕上げ  
屋根：ガルバリウム鋼板  
外壁：スタック吹き放し
- ◆内部仕上げ  
床：ナラ  
壁・天井：珪藻土
- ◆構造材  
柱・梁：丹波産材

敷地面積： 227.76 m<sup>2</sup>  
 建築面積： 76.32 m<sup>2</sup>  
 1階床面積： 59.84 m<sup>2</sup>  
 2階床面積： 48.63 m<sup>2</sup>  
 延べ床面積： 108.47 m<sup>2</sup>

2F

土地にあるものと暮らす人を、  
馴染ませる。  
その答えが「五角形」だった。

丹波篠山市のとある住宅街の一番端。何年ものあいだ空き地だったその土地は、南北の奥行きが狭く、南道路側には高い家が建ち並び、北東に対して景色が開いていた。そこで計画を、建物を南道路側と北西の森に対しては景色を取り込むため平行に配置することとした。北東側の田園風景に視線を抜くことを考えた結果、五角形へと辿り着いた。



製材所の倉庫で仮組された屋根。丹波の木材でつくる家。



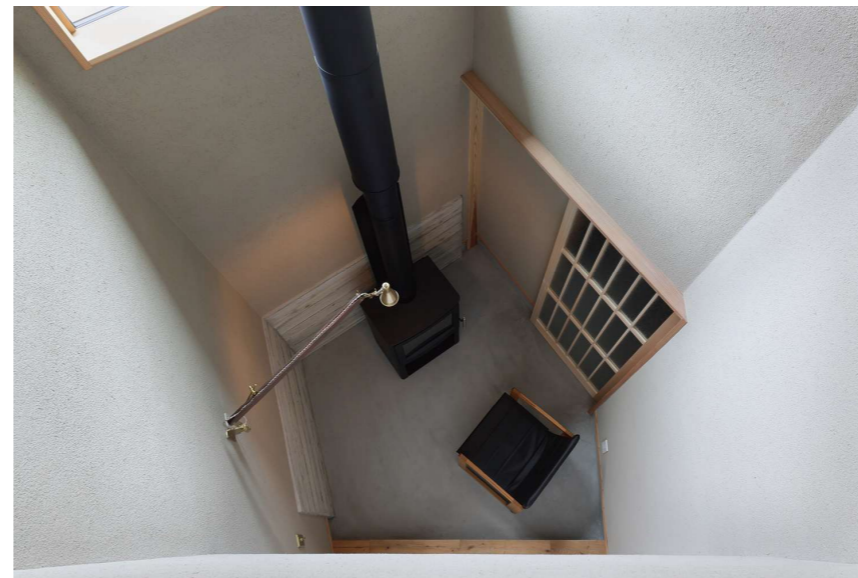
造作ソファから、北西の豊かな自然を眺める。



南面の前面道路からプライベート性を高められるよう木目のあるコンクリート壁を配置。2階の木板とともに外観にアクセントをもたらし、景観を損なわない仕上がりとした。



北西に広がる自生する森と、北東側に広がる丹波篠山の田園風景を正面に望む五角形。LDKへそれぞれの景色を取り込み、自然と暮らしを隔てる手すりのないテラスへと繋がる。



多角形ならではの部屋形状の薪ストーブがある玄関土間。2階のFIX窓からは、南からの優しい陽光が降り注ぐ。お気に入りの椅子に腰掛けて、火の揺らめきを眺める冬が住まい手の愉しみ。



玄関土間〜リビングダイニング〜キッチン・水廻りと回遊性を持ち、それぞれが重なり繋がる空間。丹波産の構造材と羽目板が、空間を温かく感じさせる。